

市立三次中央病院

市立三次中央病院は、昭和27年開設以来、病院の施設拡充・機能の充実を図ってきました。現在、広島県の二次医療圏、備北の基幹病院として地域がん拠点病院、周産期医療、小児救急など高度先進医療・救急医療を中心に急性期病院として診療をしています。

市立三次中央病院には、急性期医療を担う基幹病院として三次市だけでなく備北地区、また、県境を越えた広域の医療圏を支える大きな使命が託されています。

- 所在地 三次市東酒屋町10531
- 開設者 三次市長 福岡誠志
- 院長 永澤昌
- 診療科目 内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病・代謝内分泌内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線治療科、放射線診断科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、緩和ケア内科、リウマチ・膠原病科、血液内科、救急科、病理診断科、形成外科
- 医師数 医師／85人（研修医含む）、歯科医師／2人
- 1日平均患者数（令和4年度）外来／655人、入院／203人

● 病床数 328床



採用情報

- 職種 医師（健診センター・精神科）、看護師、助産師（臨時）
- 募集人数 医師／各1人、看護師、助産師／20人程度
- 採用試験 随時
- その他 詳細は下記までご連絡ください。

応募連絡先

担当部署：病院企画課
電話：0824-65-0101 FAX：0824-65-0150
E-mail：byouin@miyoshi-central-hospital.jp